

2019年度 粉ミルク及び液体ミルクの遺伝子組換え作物由来原材料の使用に関する調査結果 2020年3月

	雪印メグミルク株式会社	雪印ビーンスターク株式会社	森永乳業株式会社	株式会社明治	アサヒグループ食品株式会社（和光堂）	江崎グリコ株式会社
質問①「遺伝子組み換え(GM)」の有無について		液体ミルクの原材料は粉ミルクと同じ				
大豆油	不分別(GM)	不分別(GM)	原材料それぞれ個別の内容にはお答えすることができません。したがって、別表に関しても、お答えを差し控えさせていただきます。	油脂、デキストリン、ビタミン、アミノ酸の一部については、これらの起源材料に遺伝子組み換え作物が含まれております。なお、これらの原料は高度に精製されており、遺伝子組み換えの影響はないものと考えております。また、国により安全性が確認され使用が認められております。	非遺伝子組み換え	非遺伝子組み換え
レシチン	不使用	不分別(GM)			不分別(GM)	不分別(GM)
大豆たんぱく	不使用	不使用			非遺伝子組み換え	非遺伝子組み換え
カノーラ油(原料ナタネ)	不分別(GM)	不分別(GM)			非遺伝子組み換え	不使用
デキストリン、ぶどう糖等(原料トウモロコシ)	該当なし	不分別(GM)			非遺伝子組み換え	非遺伝子組み換え
ビタミン類	該当なし	該当なし				V.C 非遺伝子組み換え V.E 不分別(GM)
質問②「非遺伝子組み換え」への切り替え予定について	意向なし。現在、調達可能な原材料が見つからないためです。	意向なし。製品の安定供給に必要な量の非遺伝子組み換え起源の原料(油脂、デキストリン)を調達することは困難です。	予定はありませんが、今後も原材料の供給安定性を考慮して、使用する原材料を検討いたします。	意向なし。安定調達の観点から、当該原料について非遺伝子組み換えのものに切り替えることは現実的に困難であると考えております。なお、これらの原料は高度に精製されており、遺伝子組み換えの影響はないものと考えております。また、国により安全性が確認され使用が認められております。	原料の調達状況等を踏まえ、判断してまいります。	意向なし。長期的に安定した調達が可能になりましたら、切り替えを検討する可能性があります。
質問③遺伝子組み換えでない原材料を供給するための課題は何か	世界的に非遺伝子組み換えの農作物を産業的に発展させて、原材料として物流と価格の面で安定的に供給する体制を作ることだと考えています。	不分別起源原料と同価格で、製品の安定供給に必要な量を確保することが必要です。	多くのお子さまのために製品を安定的に供給する義務がメーカーにはあると考えます。そのためには安定的な供給が大きな課題です。	質問②に同じ	遺伝子組み換えでない原料の安定調達が大きな課題だと考えます。	安定した調達とコストが課題として考えられます。
質問④ゲノム編集原材料の使用予定について	使用予定なし。使用の必要性が発生した場合に安全性の確認を総合的に行い判断します。	現時点では未定です。	ゲノム編集作物由来であることが確認できた原材料については積極的に使用する予定はありません。	現時点では決定していません。	使用予定なし	使用予定なし